

◆「食」部門オープニングシンポジウムを開催！

4月23日（土）、奈良ひとまち大学との共催により春日大社 感謝・共生の館で「食部門オープニングシンポジウム」を開催しました。

当日は当初予定を大きく上回る約120名の皆様に参加いただき、大にぎわいとなりました。

第一部のシンポジウムでは、春日大社 花山院 弘匡宮司から、うどんのルーツ「^{はくたく}餛飩うどん」や、春日大社の古式神饌^{しんせん}の伝統を受け継ぐ饗膳「愛敬祝儀膳（ういきょうしゅうぎぜん）」などについてのお話を伺った後、奈良大学の上野誠教授、食部門ディレクターの船越雅代氏を交えて3氏によるトークセッションが行われ、参加者は熱心に聞き入っていました。

シンポジウム終了後、全員で春日大社本殿の参拝と境内を見学し、その後、お待ちかねの食事となりました。食事には、愛敬祝儀膳のほか春日餛飩うどん、大和茶が提供され、参加者は目で、耳で、舌で、奈良の食文化を堪能しました。



花山院 弘匡宮司による食の講話



花山院宮司、上野教授、船越氏によるトークセッション



トークに熱心に聞き入る参加者たち



愛敬祝儀膳と餛飩うどん

◆平城京天平祭に寧波市・濟州道の芸能団が参加、食部門でも「ゲル」を展開

5月3日(火)～5日(木)、「平城京天平祭 春 2016」が開催され、今回は「東アジア文化都市 2016 奈良市」との連携企画として、「寧波市・濟州道の伝統芸能披露」と「Nara Food Caravan」を実施しました。

五月晴れの下、会場には多くの方が来場され、寧波市は寧波梅山舞獅隊による「梅山獅子舞」、濟州道は濟州ドゥルナヌムによる「立春仮面クッノリ」や「パンソリ」などの伝統芸能を披露したほか、ゆかり風流行列にも参加し観客を魅了していました。

また、「Nara Food Caravan」ではペルシャから唐の時代に伝わってきた胡餅(こべい)やラム肉の串焼き、モンゴルの馬乳酒をイメージして仕上げたモンゴルサワーを販売し、来場者はシルクロード由来の食に舌つづみを打っていました。



寧波市の梅山獅子舞



濟州道の立春仮面クッノリ



ゲルを再現しシルクロード由来の食を提供

◆「アースデイ 2016 奈良」にPRブースを出展。みんなで船を作りました。

4月24日(日)、奈良公園登大路園地で開催された「アースデイ奈良2016」にPRブースを出展し、本事業のシンボルプロジェクトである蔡國強「船をつくる」プロジェクトになぞらえて、折り紙の船を鏡池にみたてたキャンバスに貼るモザイクアートを制作しました。

多くの子どもたちが参加し、キャンバスの鏡池は素敵な船でいっぱいになりました。

今後も様々な機会を捉えて積極的にPRしていきます。



モザイクアートに参加した子どもたち



鏡池がカラフルな船で一杯に

担当：奈良市東アジア文化都市推進課

電話：0742-27-0120

FAX：0742-27-0121

Mail：culturecity-nara@city.nara.lg.jp



公式HP



Facebook



Twitter